

# 明治大学 vs 慶應義塾大学

9月28日(土)  
11:30K.O.  
早大G

「あまり内容もなく、苦しいゲームだった」  
前節の東洋大戦は3-2で2連勝を達成した明大だが、神川明彦監督の表情は晴れなかった。  
「よかったのは勝点3を取れただけ」(神川監督)  
前半36分に先制点を奪われたように、結局、前半は自分たちのペースに引き寄せることができなかった。  
「試合を通じて落ち着いたゲーム運びができなかった。それがどういふところからきているのか、もう一度突き詰めなければいけない」(神川監督)  
しかし、そういった展開の中でも勝ちきる底力はさすが。後半1分に相手が退場者を出し、そのPKから1点を奪うと、3分、14分と追加点を奪って東洋大を突き放した。半面、36分にFKの流れから失点してしまったのは猛省しなければならないだろう。  
後半戦2連敗と苦しいスタートになった慶大。巻き返しを図りたかった前節の筑波大戦も0-3の敗戦と3連敗を喫してしまったが、  
「結果は0-3だったが、選手たちはやろうとしていることを100パーセント出そうとしてよく頑張った」と、須田芳正監督は評価した。  
「ディフェンスはすごくよかった。前からの追い込み

で、相手の縦パスをしっかりと後ろの選手が奪えたところは非常によかった」(須田監督)  
課題としていた守備の部分で光が見えたのは大きいですが、これを勝点に結びつけていかなければいけない。  
「失点したあとに元気がなくなり、下を向いてしまった。もったいなかった。メンタルの弱さは改善しなければいけないが、筑波大戦の内容を継続して今度は結果が出るようにしたい」(須田監督)

警告3回:山越康平(明大)、松下純土、溝淵雄志(以上慶大)  
前回の対戦:明大2-2(シュート数16-8)慶大

15. 高橋	27. 石原	3. 飯高
		13. 望月
4. 小出	22. 藤本	16. 加瀬澤
	16. 差波	8. 松下
1. 三浦		15. 山本
	6. 水野	4. 保田
3. 山越	8. 和泉	21. 宮原
		32. 小坂
		20. 端山
		22. 久保
12. 室屋	7. 梅内	23. 山田

# 早稲田大学 vs 国士舘大学

9月28日(土)  
13:50K.O.  
早大G

12節終了時点で首位・専大との勝点差を2ポイントにまで縮め、ようやく背中をとらえた早大だったが、前節は流経大に0-3の完敗を喫してしまい、再び差は5ポイントに開いてしまった。  
「立ち上がりからペースを握られてしまった。よかったところのない試合」(古賀聡監督)  
好不調の波がなく、安定した力を発揮できるのが早大の強みだったが、この試合は急ブレーキ。  
「すべてにおいて完敗だった」(古賀監督)  
守備の安定感が持ち味だけに、この3失点は早急に修正が必要だ。  
「国士大は後半戦からの調子がいいチーム。流経大戦をしっかりとリセットして、東伏見という早大のホームで優勝するために勝点3を取りたい」(古賀監督)  
後半戦3勝1分けと負けなしの国士大。前節はセットプレーからゴールを量産し、4-1で日体大を下した。前半戦の不調がウソのような快調ぶりだ。  
「セットプレーからだったが、早い段階で3点をリードすることができてよかった」(細田三三監督)  
この日は5分の得点を皮切りに、前半、3本のCKを確実にゴールにつなげたのが大きかった。キッカー橋本

拓門(4年)のポールもよかったが、  
「合わせようとしてくる選手もよかった。勝ちたいという気持ちで一生懸命プレーしていた」(細田監督)  
というようにチームがうまく連動し、一体感が出ているのが今の国士大の強みだ。一方で、  
「少し疲れてくると単純なミスをしてしまう。そういうときこそ、ミスを最小限に食い止めるようにしたい」(細田監督)

警告3回:池西希(早大)、平松宗(国士大)  
前回の対戦:早大2-1(シュート数11-7)国士大

6. 三竿	8. 近藤洋	26. 佐々木	2. 石川
3. 金沢	10. 榎本	16. 平松	3. 吉田
	5. 池西		7. 橋本
1. 松澤			1. 小澤
	4. 中田		33. 池ヶ谷
2. 奥山	25. 宮本	10. 新村	4. 今瀬
26. 西山	7. 近藤貴	14. 進藤	22. 藤寄

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

# JR東日本カップ 2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.14 Division1



編集:加茂郁実 発行:関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 専大が首位をキープ!

残り9試合となった「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。12節では首位の専大が敗れ、優勝争い、残留争いとも激しい戦いが続いているが、今節は各チーム、どのような戦いぶりを発揮したのか。  
まず、首位の専大。12節で国士大に0-1の敗戦を喫した影響が心配されたが、連勝中の順大を2-1で下して、しっかりと首位をキープ。順大の連勝は2でストップした。  
2位の早大は後半戦、なかなか調子の上らない流経大と対戦。しかし、ここで意地を見せたのは流経大。3-0で早大を下して後半戦2勝目を挙げた。敗れた早大は首位・専大との差が、再び5ポイントに開いてしまった。  
後半戦勝ち星がない中大と好調な桐蔭大の一戦は、前半は0-0で折り返したが、後半にゲームが動いて中大が2点を先行。桐蔭大も1点差に詰め寄ったが、そのまま試合は終了して中大が後半戦初勝利を飾った。  
後半戦、勝ち星がない日体大と好調・国士大の一戦は、国士大がセットプレーから効率的にゴールを重ね、4-1で下して2連勝。好調をキープしている。逆に、日体大の堅守はどこにいったのか……。  
明大と東洋大の一戦はゴールラッシュとなったが、後半の立ち上がり14分

**得点ランキング**

仲川 輝人(専大)	11点
長澤 和輝(専大)	8点
榎本 大希(早大)	7点
坪井 秀斗(桐蔭大)	7点
和泉 竜司(明大)	7点
前澤 甲気(専大)	6点

**アシストラランキング**

仲川 輝人(専大)	4アシスト
北爪 健吾(専大)	4アシスト
以下3アシスト8名	

で3点を奪った明大が3-2で東洋大を下した。東洋大は攻撃面は悪くないが、後半1分にGKが退場したことも響いて3失点。失点が多いのが気がかりだ。  
後半戦元気がない慶大は筑波大と対戦。慶大はこの日も守備陣が崩壊し3失点。攻撃面でもノーゴールに終わり、後半戦開幕3連敗と窮地に立たされている。内容はよくなってきているだけに、結果に結びつけたい。  
専大と早大の優勝争いは一進一退の様相。一方、下位チームの奮闘が目立ち、残留争いはかなり激しくなっている。今節も面白そうだ。

# JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が延期のため暫定順位 日程未定

順位	チーム名	専大	早大	桐蔭大	明大	中大	流経大	筑波大	日体大	国士大	順大	慶大	東洋大	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	201 11月24日	602 11月9日	401 10月6日	502 11月2日	203 10月12日	201 10月27日	111 11月17日	201 10月1日	201 10月19日	601 10月19日	301 9月28日	13	10	1	2	37	17	20	31	
2	早大	102 味フィ西 11月17日	111 11月17日	201 11月2日	201 11月9日	300 10月12日	100 10月12日	111 10月6日	201 10月6日	001 9月28日	201 10月20日	201 10月27日	100 302	13	8	2	3	19	14	5	26
3	桐蔭大	206 江戸陸 11月17日	111 たつこの	203 11月23日	102 9月28日	301 10月6日	001 10月6日	100 11月2日	100 10月20日	302 10月12日	201 401	102 10月27日	102 10月27日	13	6	2	5	22	21	1	20
4	明大	104 駒補 10月19日	102 江戸陸	302 味フィ西	103 10月19日	010 401	010 11月16日	010 10月26日	102 10月13日	201 11月9日	401 9月28日	202 302	13	5	4	4	21	19	2	19	
5	中大	205 駒補 10月19日	102 古河	111 201	301 川口	010 11月17日	010 11月17日	200 11月17日	001 11月24日	102 10月26日	200 9月28日	100 10月5日	111 10月12日	13	5	4	4	17	15	2	19
6	流経大	302 流経大G 10月19日	003 300	103 柏の葉	010 104	010 たつこの	010 10月19日	111 10月19日	002 11月10日	111 10月6日	010 10月27日	301 11月23日	100 11月2日	13	4	5	4	14	17	-3	17
7	筑波大	102 BMWス 11月17日	001 ひたちなか	100 たつこの	010 たつこの	010 11月17日	111 古河	203 古河	302 9月28日	100 11月2日	111 11月23日	300 11月9日	12	4	4	4	19	17	2	16	
8	日体大	111 BMWス 11月17日	111 駒補	001 ゼットエー	010 川口	100 味フィ西	200 たつこの	203 古河	100 10月1日	104 003	102 10月13日	301 10月19日	13	4	4	5	14	17	-3	16	
9	国士大	102 100	102 早大G	001 千葉東総	102 足利	201 駒二	111 たつこの	201 フクアリ	001 401	005 11月16日	203 11月9日	201 11月23日	13	5	1	7	17	21	-4	16	
10	順大	102 102	100 千葉東総	203 流経大G	104 江戸陸	010 柏の葉	010 味フィ西	103 味フィ西	500 300	602 古河	202 11月2日	202 10月5日	13	4	3	6	24	21	3	15	
11	慶大	106 古河	102 味フィ西	102 104	212 早大G	001 古河	103 たつこの	未定 003	201 足利	302 保土ヶ谷	206 フクアリ	201 11月17日	12	3	1	8	16	33	-17	10	
12	東洋大	103 古河	001 203	201 BMWス	100 203	111 ひたちなか	001 江戸陸	515 たつこの	103 川口	102 たつこの	212 古河	102 三ツ沢	13	2	3	8	19	27	-8	9	

体育会学生のための  
**リクナビ就職エージェント**

成功も失敗も、自分が決める。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
<http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>

RECRUIT

# 日本体育大学 vs 筑波大学

9月28日(土)  
11:30K.O.  
古河

教育実習の関係などで、選手が思うようにそろわない日体大。前節も国士大に1-4の敗戦で、3連敗を喫してしまった。

「ふがない試合をしてしまった。この3試合で10点取られてしまっているの、まずはそこを減らしていかなければいけない」(倉又寿雄監督)

9月24日にはジェフ千葉と練習試合を行ったが、こちらも0-4の敗戦と浮上へのキッカケにはならず、苦しい状況が続いている。

「それでも最後、諦めないで点を取りにいけた。1点を返すことができ、その点で選手はよくやってくれたと思う」(倉又監督)

というように攻撃面では手応えを得ているだけに、あとはやはり守備の部分。ケガから復帰している選手もいるだけに、何とかここで悪い流れを断ち切りたい。

前節、慶大を3-0で下し、後半戦は開幕から2勝1分と結果を残している筑波大。

「3点取れたのと、無失点で終えることができたのがよかった」(中山雅雄監督)

というように、攻守に安定した力を発揮。一方で、「ウチがやろうとしているサッカーに対して、相手は足

元に入ってくる。そこで取られないようにして、ボールを持てるようになるのが第一。そういう相手に対しては違うやり方もあるので、うまくやりたい」(中山監督)

前半は相手がしっかりと守ってきたこともあり、ボールを保持しているものの、なかなかシュートに持ち込めず苦しんだ。こういった戦い方をされたときにでも、しっかりとゴールまでの道筋を作っていきたい。

**出場停止：高野遼(日体大) 警告3回：梅村徹、北脇健慈、宮内啓汰(以上日体大)、谷口彰悟(筑波大)**

**前回の対戦：日体大2-3(シュート数8-15)筑波大**

日体大		筑波大	
2. 宮内	15. 阿部	11. 中野	18. 早川
3. 広瀬	11. 北脇	19. 若杉	17. 西村
	33. 小泉		2. 田代
1. 畠中			1. 神倉
	10. 稲垣		7. 葺本
13. 川田	14. 長谷川	9. 赤崎	5. 車屋
24. 横野	7. 梅村	13. 曾山	12. 三丸

# 桐蔭横浜大学 vs 流通経済大学

9月28日(土)  
11:30K.O.  
柏の葉

1部に昇格したばかりながら後半戦も3位と好調な桐蔭大だが、前節は中大に1-2の敗戦を喫した。

「相手の個の力が強いという部分で、前半はだいぶ押し込まれた」(八城修監督)

それでも前半は何とか無失点で乗りきったが、後半の立ち上がり8分、13分に失点。苦しい状況に追い込まれたものの、

「最後まであきらめずに、終盤にビッグチャンスも2本作ることができたのがよかった」(八城監督)

と前を向いたように、自分たちの流れに持ち込むだけの力は持っている。

「相手がボールを保持しても、自分たちが主導権を握って守備をするというところが欠けていた。あとはボールを失う回数が多いのは修正点」(八城監督)

インカレ出場権獲得のためにも、連敗は避けたい。

総理大臣杯で優勝を果たしたものの、リーグ戦ではなかなか波に乗りきれない流経大だったが、前節は2位の早大を3-0で下し、その実力を発揮した。

「90点ぐらいのゲームができた。不満がない」と、中野雄二監督も納得の笑みを浮かべた。

「12節の明大戦(1-4)で悔しい思いをして、強い

思いを持ってトレーニングしてきたから、いいゲームをすることができた。早大戦のような試合を続けられれば優勝できる」(中野監督)

強気の発言も出たが、よほど内容に満足したのだろう。実際、チーム状態がいいときは、どこにも止められないほどの力を発揮する。

「勝って勝点を増やし、上の順位にいるチームの一つずつ追い越し、インカレにつなげていきたい」(中野監督)

**警告3回：山根視来(桐蔭大)**

**前回の対戦：桐蔭大3-1(シュート数12-12)流経大**

桐蔭大		流経大	
16. 長谷	11. 山根	7. 中山	2. 湯澤
6. 福島	20. 今関	27. 藤山	5. 川崎
	9. 大泉		6. 富田
1. 島崎			1. 八巻
	7. 平山		25. 古波津
4. 古澤	10. 坪井	18. 田上	28. 藤原
3. 香西	8. 山崎	14. 西谷	29. 橋本

# 専修大学 vs 東洋大学

9月28日(土)  
13:50K.O.  
古河

12節で下位の国士大に敗れた影響が心配された前節の専大だが、ケガ人の影響もあって前節の順大戦はシステムを3バックにして臨んだ。

「ケガ人の穴をみんなで埋めることができたのが、一番よかった点」(源平貴久監督)

もともと強固とはいえないディフェンス面に不安を抱え、しかも守備陣にケガ人が出ていただけに、その中でもしっかりと勝点3に結びつけられたのは大きい。

一方で、自慢の攻撃陣はもっと力を発揮したい。

「3点目を奪えるチャンスが何度かあったが、決めきれなかったのは反省点。最後に1失点したが、3点目があれば焦るような状況にならなかったはず」(源平監督)

守備の部分では今できることの精いっぱい状況だけに、もっと点を取れるような展開に持ち込みたい。

善戦するものの、なかなか勝ちきれない東洋大。前節の明大戦も前半36分に先制点を奪い、1点リードで後半を迎えたが、その後半の立ち上がり1分にGKの浅沼優瑠(3年)が退場処分。その流れからのPKで失点してしまい同点に追いつかれると、そこからズルズル失点を重ね、2-3の敗戦を喫してしまった。

「守備に追われる時間が長く、カウンターが多くなる。

どうしても間延びしたり、厚みのある攻撃ができない。いかにボールを保持できるかというのが勝敗のカギになると思っていたが、思わぬところでゲームが動いてしまい難しい展開になった」(古川毅監督)

残留圏内の10位との勝点差は6ポイント。これ以上は離されたくないだけに、善戦を勝点につなげたいところだが、守備陣に出場停止選手が3名と苦しい状況だ。

**出場停止：浅沼優瑠、馬渡和彰、藤井悠太(以上東洋大)**

**警告3回：前澤甲気(専大)**

**前回の対戦：専大3-1(シュート数16-3)東洋大**

専大		東洋大	
32. 後藤		11. 黒須	24. 村田
38. 飯田	7. 長澤	29. 仙頭	12. 内田
	8. 下田		6. 石川
1. 福島	3. 萩間	11. 前澤	21. 半澤
	14. 星野		10. 桑田
30. 富田	10. 仲川	18. 小山	16. 筑井
	2. 北爪	15. 斉藤	14. 平石

# 中央大学 vs 順天堂大学

9月28日(土)  
13:50K.O.  
柏の葉

試合を優位に進めながらも、なかなか勝ちきれないゲームが続いた中大だが、前節の桐蔭大戦は2-1の勝利を収め、ようやく結果がついてきた。

「今までの試合は最後の詰めのところできれいが出て、なかなか勝つことができなかった。自信も失っていた。でも、もともと実力はあるし、その力を本人たちが自信を持って出してくれば、このような結果になる」

ようやく本来の力を発揮し、かつ結果に結びついただけに、白須真介監督もホッとした表情を浮かべた。

ただ、まだ完全ではない。

「試合を優位に進めるチャンスが前半に2回ほどあった。そういうところを決めきれないから、ここ3試合の状況も悪くなってしまった」(白須監督)

自分たちの流れのときに、チャンスをモノにする集中力を発揮したい。

2連勝で迎えた前節の専大戦だったが、結果は1-2の敗戦に終わった順大。

「現時点ではよく戦ったと思う」(吉村雅文監督)

というように奮闘はしていたが、結果にはつながらなかった。

「ただ、2失点の部分は反省」(吉村監督)

不用意な一つのミスが失点につながってしまうだけに、いかに我慢できるかがポイント。

「専大戦は90分間、切れずに走り続けることができた。集中していた。その中で、どの部分を自分たちが生かせていないのか。それを理解するための前提になるゲームだったと思う」(吉村監督)

ここでしっかりと勝つことができれば自信は深まるだけに、そのきっかけのゲームに試合したいところだ。

**警告3回：小出啓太、細見諒(以上中大)、宮本和輝(順大)**

**前回の対戦：中大2-0(シュート数8-2)順大**

中大		順大	
6. 高瀬	10. 澤田	8. 天野	16. 吉永
12. 小出		11. 原田	3. 清水
	8. 田辺		15. 青木
1. シュミット	25. 渋谷	19. 皆川	1. 川口
	4. 細見		6. 岡崎
24. 岡崎		7. 和田	5. 新井
13. 鈴木	7. 砂川	10. 井村	13. 宮本